

あつと驚く 空港会社の法破り！

大惨事も避けられない 「へ」の字誘導路の緩和工事

6日の成田市議会の空港対策特別委員会で、とんでもない計画が、NAA（成田空港会社）の説明で露見しました。

無理やり造った「へ」の字誘導路

問題になっているのは、暫定滑走路の「へ」の字誘導路。無理と無謀を重ねたために、本来、滑走路と平行であるべき誘導路が、大きく「へ」の字に曲っています。

滑走路と誘導路の間隔（離隔距離）は、接触事故を避けるための国際標準が決まっています。182.5メートル。ところが「へ」の字部分では、いちばん近いところで107メートルしかありません。

このため、NAAはなんと信号機を設置し、滑走路を走る航空機があるときには、誘導路を走行する航空機を待機させてむりやり運航してきたのです。

「羽田ハブ」にあおられて 利益優先・人命軽視

「緩和工事」とは、その曲がり具合を緩くする工事のこと。NAAの説明では、工事後の離隔距離は120メートル。13メートル広がるだけです。ところがNAAはこれで改善できたといって、信号機をはずしてノンストップで運航するというのです。

どうしてこんなデタラメが許される？！ 乗客、乗員、住民の命には目もくれず、利益のためなら法も破って平気なのです。

羽田をハブ（基幹）空港とする国交省の政策転換に、NAAはあせりにあせて「年間30万回離着陸」を打ちだしました。第3誘導路工事と「へ」の字緩和はまったく危険。これでは尼崎の鉄道事故や去年のフェデックス激突・炎上の二の舞。工事を中止すべきです！

（9月8日）



第3誘導路粉碎！ 団結街道廃止許すな！
現闘本部の破壊を阻止し、市東さんの農地を守ろう！
軍事空港建設粉碎・改憲阻止！

10・10全国総決起集会

【日時】10月10日（日）正午

【会場】成田市東峰 反対同盟員所有畑

【主催】三里塚芝山連合空港反対同盟